

令和6年度第1回愛媛県へき地医療支援計画 策定等会議（書面）の開催結果

- 1 開催方法 書面送付により開催
- 2 議 題 令和7年度へき地医療支援計画（案）について
- 3 主な意見

無医地区だけでなく、無歯科医地区も広がっており、へき地医療拠点病院への歯科衛生士の配置も将来的には必要と考えるが、県での雇用を検討いただきたい。

歯科医療機関がなく、容易に歯科医療機関を利用できない地区、いわゆる無歯科医地区は令和4年10月時点で本県に24地区あり、医療従事者のみならず、歯科医療従事者の確保も重要と考えております。

このため、県では、直接歯科衛生士を採用した上で、本庁や保健所、県立病院（公営企業管理局）に配置し、本県の歯科医療体制の確保を図っているほか、国の基金等を活用し、歯科衛生士の人材養成や歯科衛生士養成所の在学者への修学支援を行うなど、県内で業務に従事する歯科衛生士の確保及び質の向上を図っているところです。

今後も引き続き、県歯科医師会等関係団体との連携の下、限られた医療資源を有効活用しながら、持続可能な歯科医療提供体制の確保に努めてまいります。

地域医療を支える優秀な人材である自治医科大学卒業医師について、義務年限終了後の県内定着を見据えたキャリア形成支援に取り組むべきと考えるが、どうか。

本県の地域医療提供体制の確保を図るためには、自治医科大学卒業医師の活躍が不可欠であるため、現在、関係機関との連携のもと、医師不足地域の医療機関への適切な配置に努めている一方、将来にわたり、自治医科大学卒業医師に県内に定着いただくためには、長期的な視点を持った上で、医師本人のキャリア形成に配慮した環境の整備を推進することが重要と考えております。

このため、県では、配置先医療機関の御理解・御協力の下、地域医療に従事しながら県中核病院等で技術向上を図る週1回の研修機会を確保するほか、医師不足地域の医師確保と医師本人の能力向上との両立を図ることを目的に策定した「キャリア形成プログラム」に基づき、本人が希望する専門医資格の取得に配慮するとともに、県立中央病院に設置した「地域キャリア形成支援センター」との連携の下、サブスペシャリティを含むキャリア形成の支援と、義務年限終了後を見据えたフォローアップ体制の強化を図るなど、将来にわたる県内定着を視野に入れたキャリア形成支援に取り組んでいるところです。

今後も引き続き、関係機関との連携の下、医師本人のキャリア形成支援を含む県内定着策の推進と、地域の医療提供体制の確保の両立に取り組んでまいります。

遠隔診療のシステム構築に向けて進捗はいかがか。

医師の地域間での偏在や高齢化等により、身近な場所で医療が受けられる環境の悪化が懸念される中、デジタルツール等の活用によって、限られた医療資源での連携を図り、医療へのアクセスを確保することが重要と考えております。

しかしながら、医療デジタル人材の不足等により、個々の医療機関で検討することは困難な状況であると、県内市町及び医療機関から伺っております。

このため、医療機関同士でデジタル活用の知見を共有できる場、新規技術やセキュリティに関する研修を受講できる場として、「愛媛県医療 DX 推進協議会」を設立いたしました。

今後もニーズに寄り添い、各々の医療機関や地域に合ったデジタル活用に向けた伴走支援を行ってまいります。